

平成 28 年度 事業計画（案）

1 雇用ミスマッチ解消支援（規約第 2 条第 1 号関連事業）

（1）事業所への実態調査

雇用のミスマッチによる人材不足の解消に向け、事業所等に出向き、仕事の魅力や将来展望、社会的存在意義のほか、職場の魅力向上や人材確保の取り組みについて聞き取り調査を実施。

（2）就労環境の改善提案

質の高い人材の確保を促進するため、（1）の調査結果を踏まえた改善策を取りまとめ、事業所等に提案。

2 移住・定住相談サポート体制の構築（規約第 2 条第 2 号関連事業）

（1）移住コンシェルジュの設置

移住希望者の希望に沿う仕事・住居の紹介や現地案内を含めた「よろず相談」に対応する「移住コンシェルジュ」を設置。

（2）「お試し居住」体験の家の整備

移住・定住相談のサポート体制を構築するため、空き家を活用した「お試し居住」体験の家を整備。

（3）空き家の発掘

子育て世代の移住に際し、ニーズが高い戸建て住宅について利活用可能な空き家を発掘し、空き家バンク制度と連携。

3 移住希望者への情報発信強化（規約第 2 条第 3 号及び第 4 号関連事業）

本市への移住の促進に向け、市内の企業や仕事の魅力を発信する。

経営者の魅力やビジョン、U I ターン者の声など、顔の見える情報の発信を通じて、新たな移住希望者の掘り起こしを行う。

（1）専用ポータルサイト、SNSによる情報発信

移住希望者の本市への関心を喚起するため、「雇用ミスマッチ解消支援」の調査で収集した情報を web で発信。

（2）啓発パンフレットの作成

加賀市への移住についての総合的な情報提供を行うパンフレットを作成し、大都市圏の移住相談窓口等に設置。

（3）移住促進イベントへの出展

大都市圏等における移住イベントやセミナーに出展し、加賀市を PR。

(4) 「お試し仕事」体験の実施

移住後の具体的なイメージをもてるように、事業所等と連携した仕事体験プログラムを実施。

(5) 大学ゼミの誘致

大学等のゼミを誘致し、学生の視点による地域の魅力を再発見するとともに、SNS 等を活用し情報を発信。

(6) 移住者ネットワークの構築

また、移住者の実体験を通じた地域での仕事や暮らしの魅力の発信や、移住希望者の相談サポートにご協力いただける移住者のネットワークを構築。

4 チャレンジできるまち『PLUS KAGA』推進事業

(規約第 2 条第 5 号及び第 3 条第 2 項関連事業)

加賀市への新しい人の流れをつくる観点から、若者、高齢者等が活躍できる「全員参加の社会」の実現を目指す包括的移住・定住の促進に取り組む。

(1) ローカルベンチャー育成プロジェクト (20 代～40 代)

- ・地域資源を活用した地方での起業に意欲がある都市部の若者を対象に、地域おこし協力隊の制度を活用した 3 年以内の起業を、地元住民や企業と共同で支援。

(2) 若者等就労支援プロジェクト (20 代～30 代)

- ・都市部の若者の就労支援を実施する NPO 法人と連携し、若者等の就農体験の受け入れを実施。
- ・介護・観光分野を始めとする受入企業等の確保を含めた就労支援プログラムを策定し、市内の若者等を含めた就労困難者の自立を支援。

(3) 生涯活躍のまちプロジェクト (40 代～)

- ・都市部からの移住を希望する元気な中高年者を対象に、地元住民と融和する形での新たなコミュニティづくり（多世代共生型）を推進。
- ・他の 2 つのプロジェクトとも関連させながら、元気な中高年者だけでなく、子育て世代を中心とした多様な人たちの移住も促進。

(平成 28 年 10 月 4 日に加賀市版「生涯活躍のまち」検討部会を設置)